

諸外国の文化財保存修復専門家養成（セ06-06-1/5）

文化遺産の保存修復を実施するためには、経験豊かな修復専門家の関与が必要不可欠である。しかし、紛争が長期間続いた国々では、文化遺産を保存・修復する人材が決定的に不足しており、その養成が緊急的課題になっている。人材育成を円滑に実施するためには、研修用教材が必要不可欠である。

目 的

海外における研修及び国内における研修を実施する際に使用することを目的としてテキストを作成した。今回は「土器の修復」をテーマにしたテキスト及びビデオ DVD を作成したが、この種の研修用教材の開発や教授方法について十分な研究が行われていないのが現状である。今後、修復対象物の違いや気候風土にあった修復材料あるいは修復技術の選択方法などについてわかりやすく解説したテキストの開発を進める必要がある。

成 果

本年度は、土器修復に関するテキスト及びビデオ DVD を作成した。

テキストは、陶磁器の製作方法と土器や陶器、磁器などの劣化メカニズム、劣化症状の特徴とそれに至る要因、塩類風化の原因となる土器に含まれる塩類の除去方法、風化して脆くなった胎土の強化方法、破片の接合方法、欠失部分の補修方法などについて具体的に症例を示して、修復方法について解説した。

ビデオ DVD については、約 15 分間の番組に仕上がっている。内容については、粘土で形を作り、焼成する土器製作の手順を動画で示し、劣化症状から見る劣化原因の解説、破損した土器の胎土強化と強化材料の使用方法、破片の接合方法や欠失部の補修方法などの作業内容を撮影してビデオ番組にした。

- ・『土器の修復』ビデオ DVD 東京文化財研究所 07.3
- ・『土器の修復』テキスト 東京文化財研究所 07.3

研究組織

青木繁夫、稲葉信子、岡田健、朽津信明、関博充（以上、文化遺産国際協力センター）



「土器の修復」ビデオ DVD より 土器の焼成



同 土器の欠失部分の補修